

10. 関係機関との調整補助

10-1. ワークショップの開催

10-1-1. 第1回ワークショップ

(1) 開催概要

第1回ワークショップの開催概要を以下に示す。

表 10-1 第1回ワークショップ開催概要

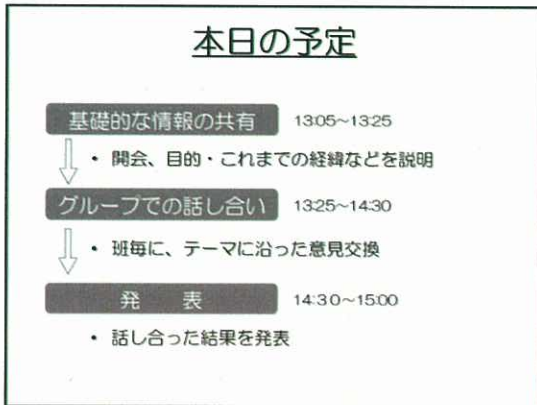
日時	平成 22 年 10 月 28 日 13:00~15:00
場所	糠平温泉文化ホール
出席者	地域住民 14 名、オブザーバー：十勝西部森林管理署東大雪支署、保健環境部環境生活課 事務局：上士幌町、環境省、(株)地域環境計画、(株)ライヴ環境計画
式次第	<p>1. 挨拶 北海道地方環境事務所国立公園課・保全整備課藤森課長、上士幌町企画財政課野中課長より挨拶</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 趣旨説明・情報共有 北海道地方環境事務所上士幌自然保護官事務所山北自然保護官よりワークショップについての趣旨説明。基礎的な情報共有のため、東大雪地域でこれまで行われてきた検討や取り組み、ワークショップの進め方などを説明。</p> <p>4. グループディスカッション・発表 テーマ ◎東大雪地域の現状(ぬかびら源泉郷・十勝三股・連携) 魅力と感じているところは？ 問題点と感じているところは？ ◎東大雪地域の将来の望ましい機能(ぬかびら源泉郷・十勝三股・連携) 魅力を活かす・感じてもらう・伝えるためには？ 問題を改善するためには？</p> <p>話し合いおよび発表 3グループ(A班、B班、C班)にわかれて、それぞれグループの中で進行係、記録係、発表係を決定。テーマに沿って意見などを付せんに書き込みながら自由に意見交換し、模造紙に整理。各グループの発表係が意見交換の内容や経過について報告。</p> <p>5. 閉会</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> •ワークショップ概要(議事次第) •図面：東大雪の現況 •図面：ぬかびら源泉郷の現況 •図面：十勝三股の現況 •本日の予定、検討の概要、現況、ワークショップの進め方について



第1回ワークショップの様子

(2) 説明資料

第1回ワークショップで説明に使用した資料を以下に示す。



検討の経緯

年	検討経緯
●H7~H13	十勝三股ふれあい自然塾
●H14	ひがし大雪山エコミュージアム構想決定
●H15~H16	十勝三股・糠平ふれあい自然塾検討会(計6回)
●H17	糠平集団施設地区整備方針検討会(計3回)
●H18.3	糠平ビジターセンター基本構想報告書作成
●H18.12	糠平ビジターセンター住民説明会開催
●H19.3	平成18年度糠平集団施設地区基本計画報告書作成

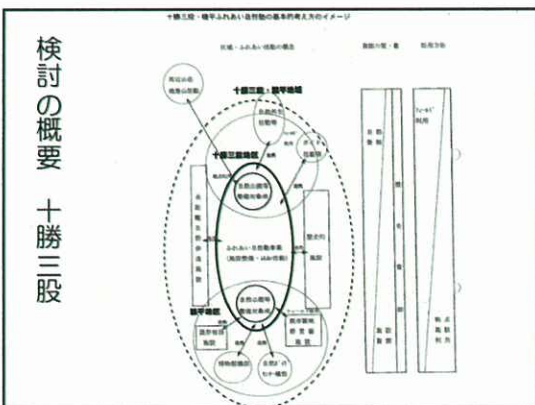
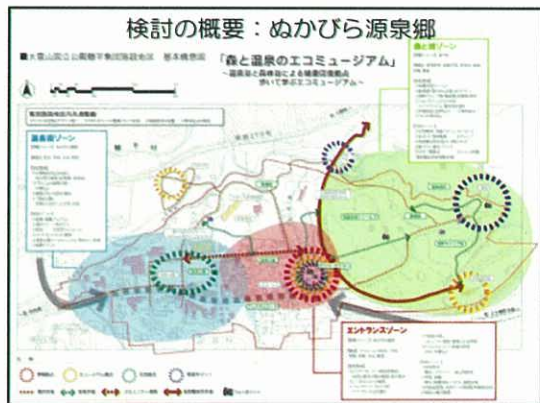
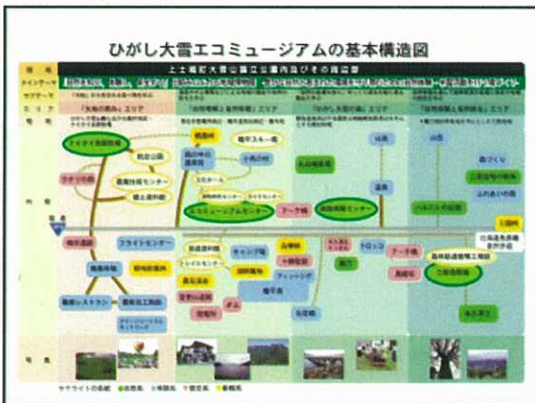


図 10-1 第1回ワークショップ説明資料(1)

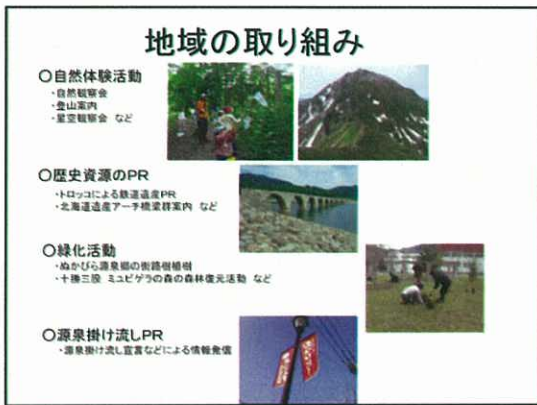
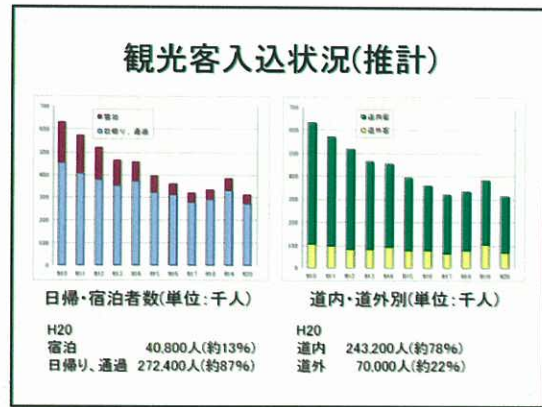
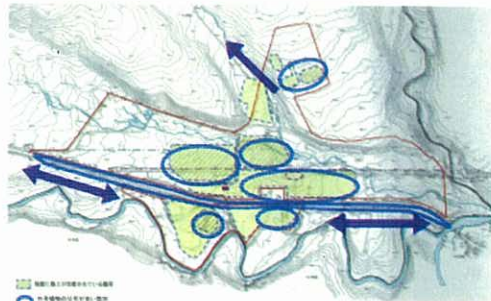


図 10-2 第 1 回ワークショップ説明資料(2)

十勝三股の外来植物分布概要



十勝三股で確認された外来植物

○広く分布

- ・ルビナス
- ・コウリンタンポポ
- ・ムラサキツメクサ
- ・ヒメジオオン
- ・フランスギク
- ・カモガヤ など



○その他確認された種

- ・ヘラオオバコ
- ・アメリカオニアザミ
- ・ブタナ
- ・オオアワダチソウ
- ・カラマツ など



ワークショップとは？

ワークショップとは、一方的な説明などではなく、参加者全員が自ら参加して、共に何かを学びあったり創り出したりする検討の一つのスタイルのことです。



話し合いのテーマ・予定

■テーマ

◎東大雪山地域の現状（十勝三股・ぬかびら・連携）

- 魅力を感じているところは？
- 課題点を感じているところは？

◎東大雪山地域の将来の望ましい機能（十勝三股・ぬかびら・連携）

- 魅力を活かす・感じてもらう・伝えるためには？
- 課題を改善するためには？

■予定

13:25～ 係り決め → 13:30～ 話し合い → 14:30～ 発表(各班5分)

話し合いのルール

- ・率直に話しましょう
- ・相手の意見を否定しないようにしましょう
- ・自分と違う意見も尊重しましょう
- ・班内で意見の一つにまとめるものではありません

班内の係を決めましょう

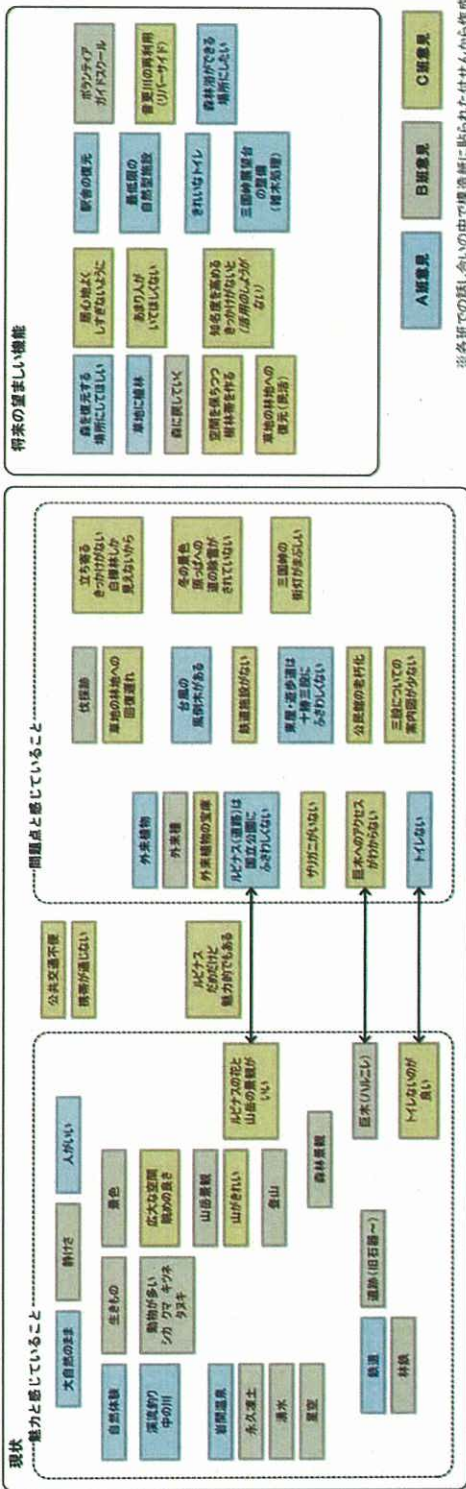
・「(仮) 司会進行」になった方は、班内で

1. 司会進行係：話し合いの進行係
2. 記録係：模造紙に記録する係
3. 発表係：話し合いの結果を発表する係

を決めるための話し合いを始めてください。

図 10-3 第 1 回ワークショップ説明資料 (3)

東大雪山地域の現状と将来の望ましい機能 ② | 十勝三股



東大雪山地域の現状と将来の望ましい機能 ③ | 連携

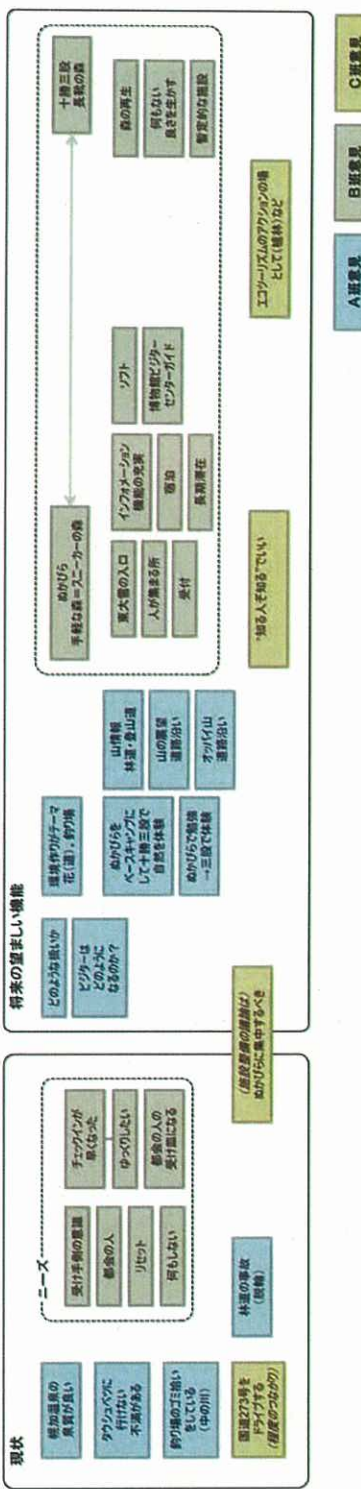


図 10-5 第1回ワークショップ話し合い結果(2)

10-1-2. 第2回ワークショップ

(1) 開催概要

第2回ワークショップの開催概要を以下に示す。

表 10-2 第2回ワークショップ開催概要

日時	平成22年11月30日 13:00~15:00
場所	糠平温泉文化ホール
出席者	地域住民12名、オブザーバー：十勝西部森林管理署東大雪支署、保健環境部環境生活課 事務局：上士幌町、環境省、(株)地域環境計画、(株)ライブ環境計画
式次第	<p>1. 挨拶 北海道地方環境事務所国立公園課・保全整備課藤森課長、上士幌町企画財政課野中課長より挨拶</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 情報共有 情報共有のため、第1回ワークショップの話し合い結果をふりかえり、さらに意見を出していただきたい点について事務局より説。</p> <p>4. グループディスカッション・発表 テーマ ◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷の利活用について ・東大雪やぬかびら源泉郷を訪れる人を楽しんでもらうために地域で可能な取り組み(活動メニューの提供など)はどんなものが考えられるでしょうか？ ・拠点となる施設やその周辺では、連携してどのような役割を果たしていくことが良いと思いますか？ ◎十勝三股等の保全と利用について ・現在の十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか？ ◎東大雪にある資源の今後について ・東大雪の魅力として今後も残しつつ利用していきたい活動は何でしょうか？</p> <p>話し合いおよび発表 3グループ(A班、B班、C班)にわかれて、それぞれグループの中で進行係、記録係、発表係を決定。テーマに沿って意見などを付せんに書き込みながら自由に意見交換し、模造紙に整理。各グループの発表係が意見交換の内容や経過について報告。</p> <p>5. 閉会</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ概要(議事次第) ・第1回ワークショップ開催概要および開催結果 ・本日の予定、検討の概要、現況、ワークショップの進め方について



第2回ワークショップの様子

(2) 説明資料

第2回ワークショップの説明資料を以下に示す。

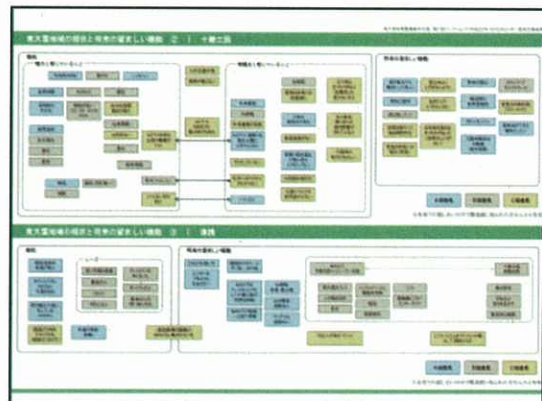
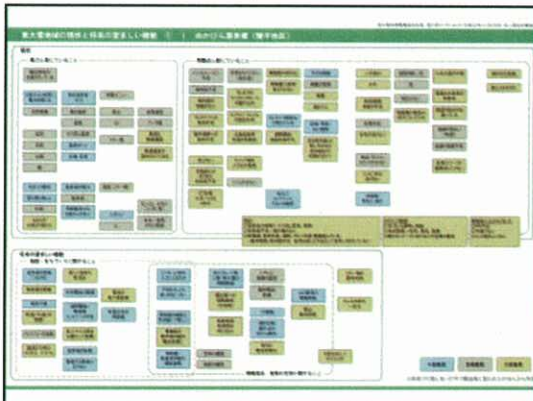
本日の予定

基礎的な情報の共有	13:05~13:15 (10分)
↓ ・ 前回のふりかえり、話し合いのテーマ、資料説明	
グループでの話し合い	13:15~14:35 (80分)
↓ ・ 班毎に、テーマに沿った意見交換	
発表	14:35~15:00 (25分)
・ 話し合った結果を発表、閉会	

第1回ワークショップのふりかえり | 開催概要

日時：平成22年10月28日（木）13:00~15:00
 場所：機平温泉文化ホール
 参加者：14名

1. 趣旨説明・情報共有
 - ぬかびら温泉の現状と今後の見込みや課題、ワークショップ開催の目的
 - ワークショップの進め方や注意事項
2. グループでの話し合い・発表
 - 次の各テーマにおいて、地域の現状と将来の望ましい機能について、3グループで意見交換
 - ◎ 東大雲地域の現状(ぬかびら温泉郷・十勝三股・道橋)
 - 魅力と感じているところは？、課題点と感じているところは？
 - ◎ 東大雲地域の将来の望ましい機能(ぬかびら温泉郷・十勝三股・道橋)
 - 魅力を活かす・感じてもらう・伝えるためには？、課題を改善するためには？
 - それぞれグループの中で進行係、記録係、発表係を選出
 - テーマに沿って意見などを付せんこに書き込みながら、自由に意見交換を行い、横断的に整理
 - 各グループの発表係が、意見交換の内容や経過について報告



第1回ワークショップのふりかえり | ぬかびら温泉郷

<p>観光の素材・利用施設がそろっている</p> <p>魅力と感じていること 温泉、ぬかびら・東大雲の自然、遊歩道、鉄道遺産、体験メニュー...</p> <p>課題点と感じていること 魅力を活かしきれていない</p> <p>東大雲に関する情報提供の充実 拠点施設での情報提供(温泉、登山、山の眺望、釣り等)、高速道路利用者の呼び込み、ITを利用した観光客への情報提供...</p>	<p>温泉街のがんばり</p> <p>植樹、かけ渡し宣言...</p> <p>生活環境に関すること 空き家、空き店舗、まちなみの手入れ、遊歩道、川沿い、公園、人混み、少子化...</p> <p>施設・まちなみの魅力アップ 遊歩道・道路の整備、美しいまちなみづくり、中央園地の整備...</p>
--	---

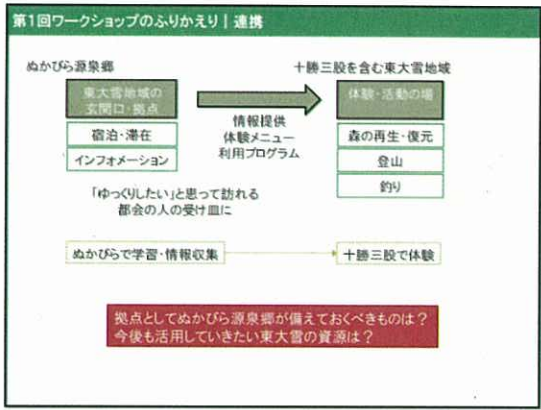
来訪者にとって魅力的な街となるために必要な情報提供・地域の取り組みは？
 その機能・役割を果たすために必要な施設の整備やメンテナンスは？

第1回ワークショップのふりかえり | 十勝三股

<p>共通する方向性・イメージ</p> <p>魅力と感じていること 自然の豊かさ、静けさ、自然体験、眺望の良さ・広がり、歴史</p> <p>課題点と感じていること 外来種、伐採跡、情報提供・案内不足</p> <p>将来の望ましい機能 森の再生・復元、何もない良さを活かす、最小限の施設整備</p>	<p>異なる方向性・イメージがみられたもの</p> <p>ルビナスと山岳景観がいい、トイレがないのがよい</p> <p>ルビナスは国立公園にふさわしくない、トイレがない</p> <p>森の再生・復元、森の再生・復元、森の再生・復元</p> <p>眺望の良さ・広がり、既存施設</p>
--	--

植生の復元との兼ね合い・バランスは？

図 10-6 第2回ワークショップ説明資料(1)



話し合いのテーマ

- ◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷の利活用について
 - ・東大雪やぬかびら源泉郷を訪れる人を楽しんでもらうために地域で可能な取り組み（活動メニューの提供など）はどんなものが考えられるでしょうか？
 - ・拠点となる施設やその周辺では、連携してどのような役割を果たしていくことが良いと思いますか？
- ◎十勝三股等の保全と利用について
 - ・現在の十勝三股の特徴（眺望の良さ・空間の広がり・歴史）と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか？
- ◎東大雪にある資源の今後について
 - ・東大雪の魅力として今後も残しつつ利用していきたい活動は何でしょうか？



図 10-7 第2回ワークショップ説明資料(2)

話し合いのルール

- ・ 率直に話しましょう
- ・ 相手の意見を否定しないようにしましょう
- ・ 自分と違う意見も尊重しましょう
- ・ 班内で意見の一つにまとめるものではありません

班内の係を決めましょう

・ 班内で係りを決めてから話し合いを進めましょう

1. 司会進行係：話し合いの進行係
2. 記録係：模造紙に記録する係
3. 発表係：話し合いの結果を発表する係

話し合いのテーマ・予定

■テーマ

◎東大雲の玄関口であるぬかびら温泉郷の利活用について

・ 東大雲やぬかびら温泉郷を訪れる人を楽しんでもらうために地内で可能な取り組み（活動メニューの提供など）はどんなものが考えられるでしょうか？

・ 拠点となる施設やその周辺では、連携してどのような役割を果たしていくことが良いと思いますか？

◎十勝三股等の保全と利用について

・ 現在の十勝三股の特徴（眺望の良さ・空間の広がり・歴史）と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか？

◎東大雲にある資源の今後について

・ 東大雲の魅力として今後も魅しつづ利用していきたい活動は何かありますか？

■予定

13:15～

係り決め(5分)

13:20～

話し合い(75分)

14:35～

発表(各班5分)

図 10-8 第 2 回ワークショップ説明資料(3)

(3) 開催結果

第2回ワークショップの話し合いの結果を以下に示す。

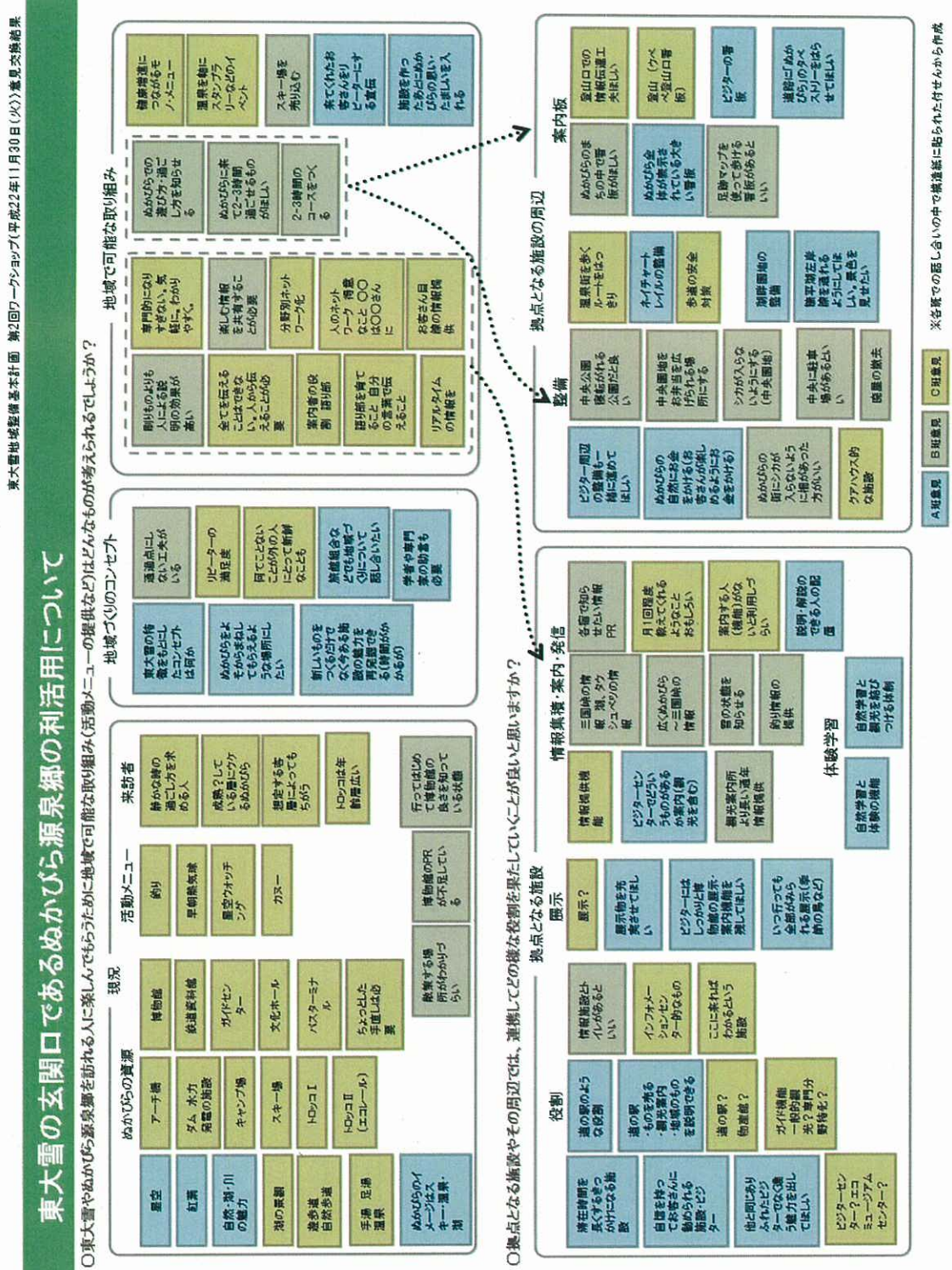
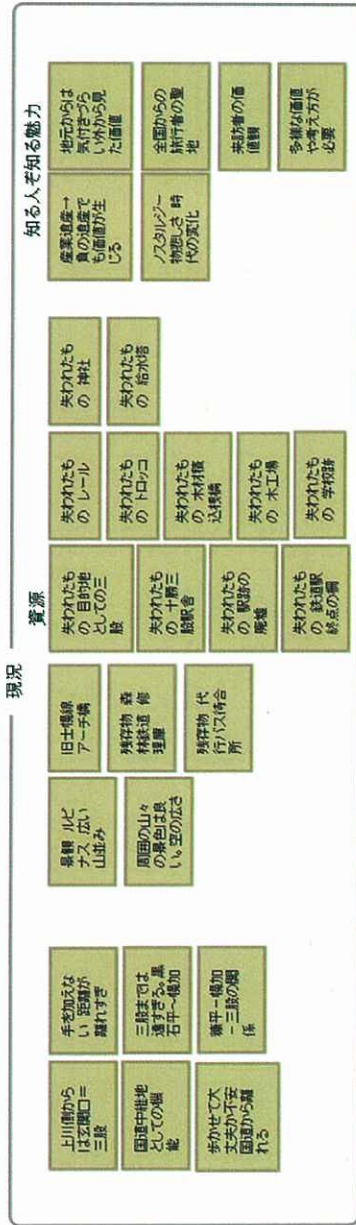


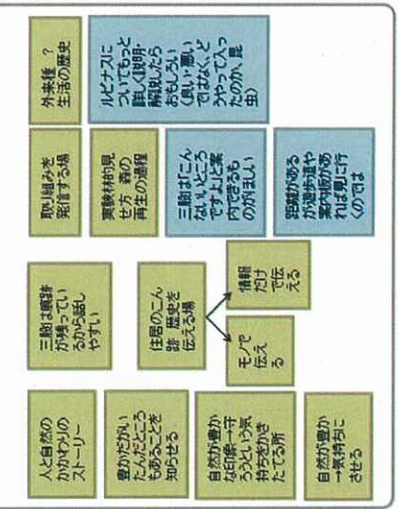
図 10-9 第2回ワークショップ話し合い結果(1)

十勝三股等の保全と利用について

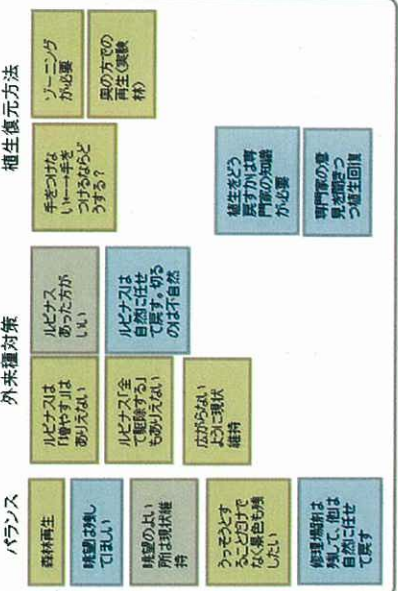
○現在の十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生の復元とパラソスをどのようにしたら良いでしょうか?



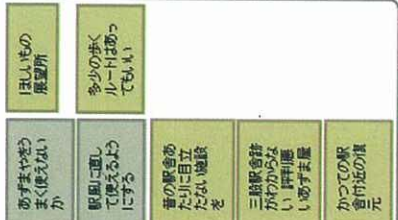
十勝三股からの発信



植生復元



施設



東大雪山にある資源の今後について

○東大雪山の魅力として今後も残しつつ利用していきたい活動は何でしょうか?

- 三股 白樺並木の集約
- 野川 湧出
- 登山道の整備

A. 班とC. 班はぬかびらの議論に含まれると聞いています。

- A. 班意見
 - B. 班意見
 - C. 班意見
- ※各案での話し合いの中で構造成に貼られた付せんから作成

図 10-10 第2回ワークショップ話し合い結果(2)

10-1-3. 第3回ワークショップ

(1) 開催概要

第3回ワークショップの開催概要を以下に示す。

表 10-3 第3回ワークショップ開催概要

日時	平成 22 年 12 月 21 日 13:00~15:00
場所	糠平温泉文化ホール
出席者	地域住民 9 名、オブザーバー：十勝西部森林管理署東大雪支署、保健環境部環境生活課 事務局：上士幌町、環境省、(株)地域環境計画、(株)ライヴ環境計画
式次第	<p>1. 挨拶 北海道地方環境事務所国立公園課・保全整備課藤森課長、上士幌町企画財政課野中課長より挨拶</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 情報共有 情報共有のため、第 2 回ワークショップの話し合い結果をふりかえり、さらに意見を出していただきたい点について事務局より説。</p> <p>4. グループディスカッション・発表 テーマ ◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷で求められた役割を果たすためのゾーニングについて ・ぬかびらを歩くルートは？ ・ルート上や街の中にどんな工夫があると楽しんでもらえる？ ・どこに案内看板があつたら効果的？ ◎十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生復元のゾーニングについて ・眺望や歴史などを残しておきたい場所は？ ・植生復元の作業や環境学習をするために、三股に施設は必要か？必要であれば、どこにあつたら良いか？</p> <p>話し合いおよび発表 2 グループ(A班、B班)にわかれて、それぞれグループの中で進行係、記録係、発表係を決定。テーマに沿って意見などを付せんに書き込みながら自由に意見交換し、地図に整理。各グループの発表係が意見交換の内容や経過について報告。</p> <p>5. 閉会</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ概要(議事次第) ・第 2 回ワークショップ開催概要および開催結果 ・図面：糠平源泉橋の案内板など ・図面：十勝三股の現況 ・本日の予定、検討の概要、現況、ワークショップの進め方について



第3回ワークショップの様子

(2) 説明資料

第3回ワークショップの説明資料を以下に示す。

本日の予定

基礎的な情報の共有 13:05~13:15 (10分)

↓

・ 前回のふりかえり、話し合いのテーマ、資料説明

グループでの話し合い 13:15~14:20 (65分)

↓

・ 班毎に、テーマに沿った意見交換

発表・まとめ 14:20~15:00 (40分)

・ 話し合った結果を発表、まとめ、閉会

第2回ワークショップのふりかえり | 開催概要

日時：平成22年11月30日（火）13:00~15:00
場所：磯平温泉文化ホール 参加者：12名

- 1. 趣旨説明・情報共有**
 - 第1回ワークショップの結果ふりかえり、さらに意見をいただきたい点について
 - ワークショップの進め方や注意事項について
- 2. グループでの話し合い・発表**
 - 次の各テーマにおいて、地域の利活用や保全と利用のバランス、資源の今後について意見交換
 - ◎ 東大雲の玄関口であるぬかびら温泉郷の利活用について
 - ・ 東大雲やぬかびら温泉郷を訪れる人に楽しんでもらうために地域で可能な取り組み（活動メニューの提供など）はどんなものが考えられますか？
 - ・ 拠点となる施設やその周辺では、連携してどのような役割を果たしていくことが良いと思いますか？
 - ◎ 十勝三股等の保全と利用について
 - ・ 現在の十勝三股の特徴（眺望の良さ・空襲の広がり・歴史）と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか？
 - ◎ 東大雲にある資源の今後について
 - ・ 東大雲の歴史として今後も残しつつ利用していきたい資源は何でしょうか？
 - それぞれグループの中で進行係、記録係、発表係を抽出
 - テーマに沿って意見を付せんし書き込みながら、自由に意見交換を行い、横断的に整理
 - 各グループの発表係が、意見交換の内容や経過について報告

東大雲の玄関口であるぬかびら温泉郷の利活用について

東大雲やぬかびら温泉郷を訪れる人に楽しんでもらうために地域で可能な取り組み（活動メニューの提供など）はどんなものが考えられますか？

ぬかびら・東大雲での遊び方・過ごし方を伝える

情報の伝え方	ぬかびら温泉郷での時間の過ごし方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 媒体だけでなく直接人から伝えること ・ リアルタイム ・ わかりやすいおきさん目録 ・ 人・情報のネットワーク、情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2~3時間過ごせるコース ・ 温泉を活かした健康増進につながること ・ 温泉を軸としたスタンプラリー……

拠点となる施設やその周辺では、連携してどのような役割を果たしていくことが良いと思いますか？

拠点施設	周辺施設
<ul style="list-style-type: none"> ・ 滞在時間を長くするきっかけ ・ ここに来れば地域のことかわかる（来訪者だけでなく、地域の人々にも） ・ 博物館の展示機能の引き継ぎ ・ 案内・解説ができる人の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点施設と一体となった整備 ・ 中央園地の再整備（覆土がれる、お弁当を広げられる……） ・ 温泉街を歩くルート（わかりやすく、安全対策） ・ 案内板

拠点施設で情報を入力して、どこを歩いて何を見たいか？そのために必要な案内板はどこに必要？ルートの中でどんな工夫（ベンチ、解説標識……他改善点など）があると楽しんでもらえる？

十勝三股等の保全と利用について

現在の十勝三股の特徴（眺望の良さ・空襲の広がり・歴史）と植生の復元とのバランスをどのようにしたら良いでしょうか？

特徴と植生復元とバランス	外来種対策	植生復元方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 眺望の良さは残したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルビナスの扱い ・ 駆除する ← 残す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーニング、専門家を交えた復元方法の検討

人と自然との関わり（ストーリー）がある
豊かな自然が「守ろう」という気持ちにさせる → 復元の取り組みを発信する場
過程を実験的に見せる etc…

作業や環境教育のために最低限の施設
雨宿り・学習に使える施設、多少の歩ルート、展望所、ベンチ、トイレ、駐車場、田舎倉付近の復元、車庫の活用、修理増築

眺望や歴史を残しておきたい場所はどこ？植生復元や環境学習をするために、三段に施設は必要？必要であれば、どこにあったら良い？

図 10-11 第3回ワークショップ説明資料(1)

話し合いのテーマ

◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷で求められた役割を果たすためのゾーニングについて
ぬかびらを歩くルートは？
ルート上や街の中にどんな工夫があると楽しんでもらえる？
どこに案内看板があったら効果的？

◎十勝三股の特徴（眺望の良さ・空間の広がり・歴史）と植生復元のゾーニングについて
眺望や歴史等を残しておきたい場所は？
植生復元の作業や環境学習をするために、三股に施設は必要か？必要であれば、どこにあったら良いか？

ぬかびら源泉郷の案内板など

十勝三股の現況

話し合いのルール

- ・率直に話しましょう
- ・相手の意見を否定しないようにしましょう
- ・自分と違う意見も尊重しましょう
- ・班内で意見を一つにまとめるものではありません

班内の係を決めましょう

・班内で係りを決めてから話し合いを進めましょう

1. 司会進行係：話し合いの進行係
2. 記録係：模造紙に記録する係
3. 発表係：話し合いの結果を発表する係

話し合いのテーマ・予定

■テーマ

◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷で求められた役割を果たすためのゾーニングについて
ぬかびらを歩くルートは？
ルート上や街の中にどんな工夫があると楽しんでもらえる？
どこに案内看板があったら効果的？

◎十勝三股の特徴（眺望の良さ・空間の広がり・歴史）と植生復元のゾーニングについて
眺望や歴史等を残しておきたい場所は？
植生復元の作業や環境学習をするために、三股に施設は必要か？
必要であれば、どこにあったら良いか？

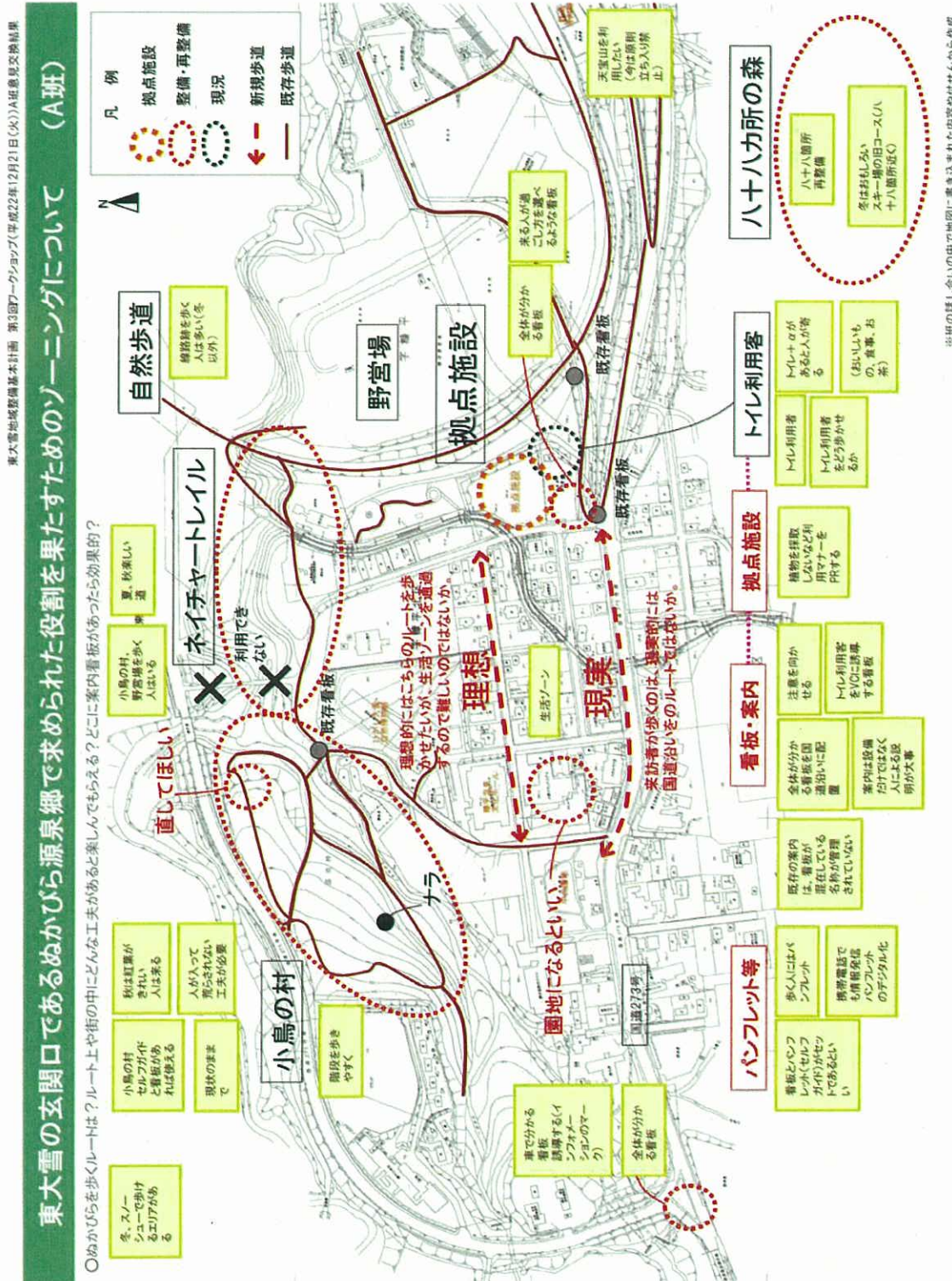
■予定

13:15～ 係り決め(5分) ▶▶▶ 13:20～ 話し合い(60分) ▶▶▶ 14:20～ 発表・まとめ (35分)

図 10-12 第 3 回ワークショップ説明資料(2)

(3) 開催結果

第3回ワークショップの話し合いの結果を以下に示す。

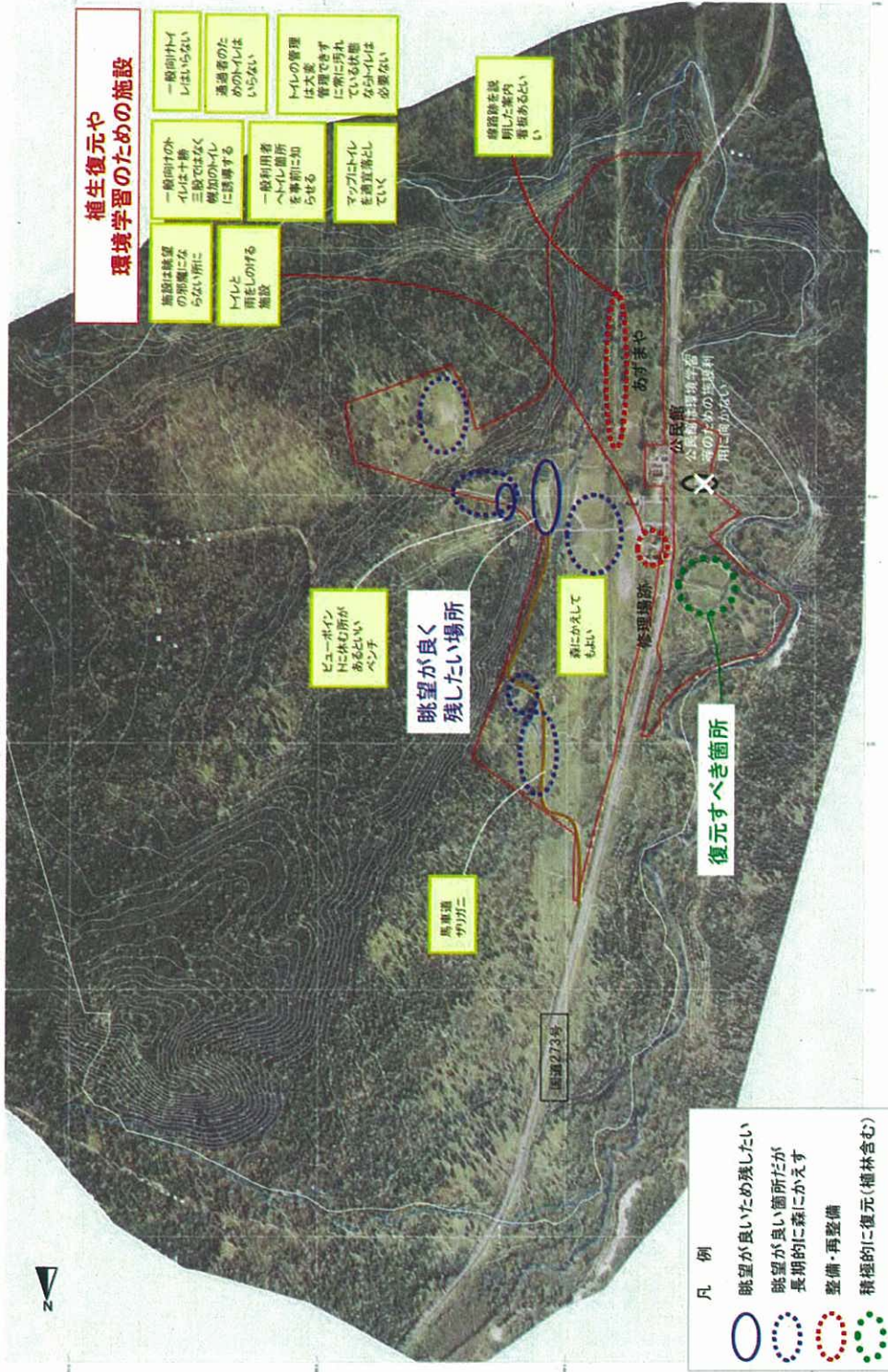


※組の話し合いの中で地図に書き込まれた内容を付せんから作成

図 10-13 第3回ワークショップ話し合い結果(1)

十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生復元のゾーニングについて (A班)

○眺望や歴史等を残しておきたい場所は？植生復元の作業や環境学習をするために、三股に施設は必要か？必要であれば、どこにあったら良いか？

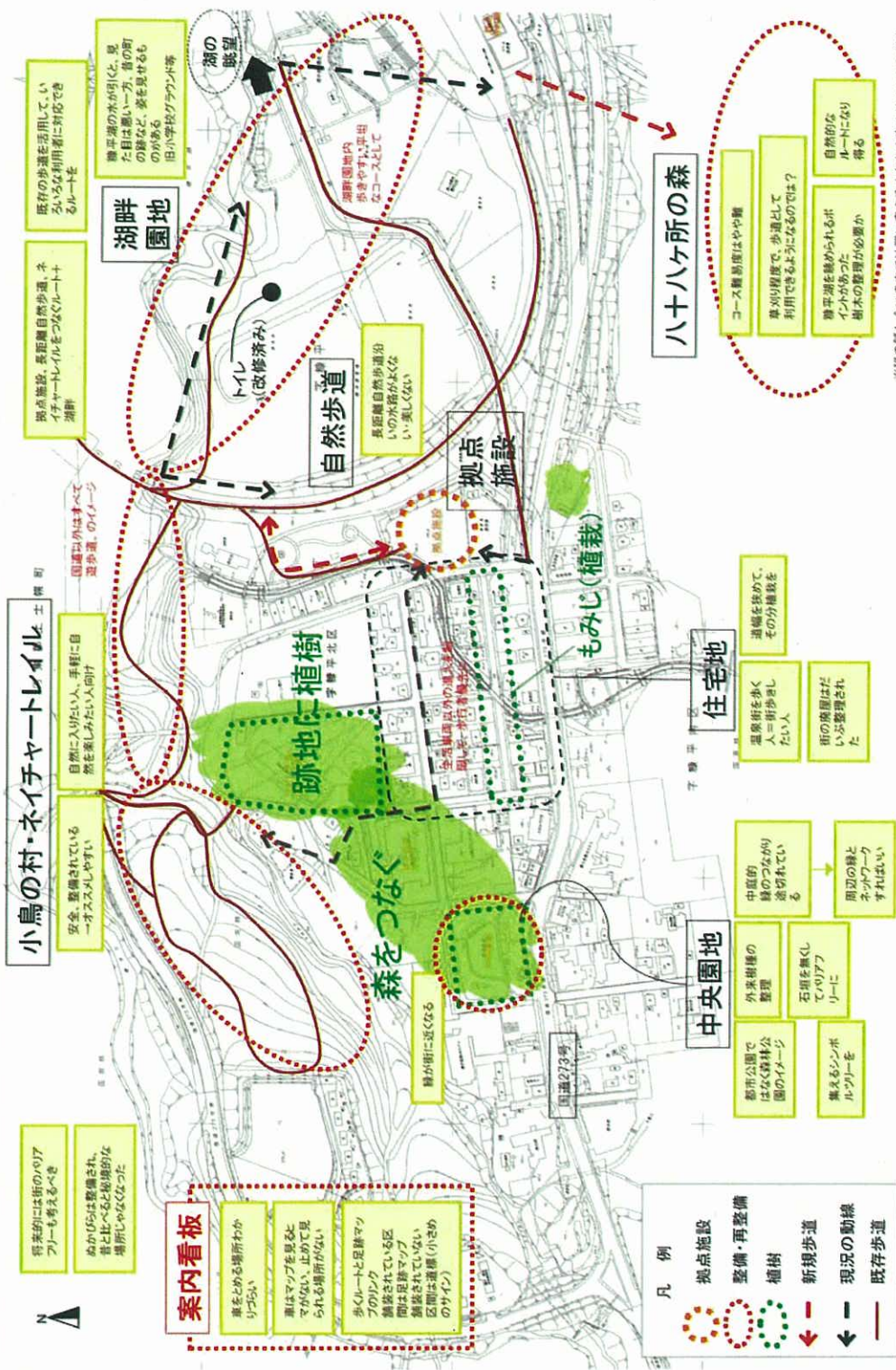


※班の話し合いの中で地図に書き込まれた内容や付せんから作成

図 10-14 第3回ワークショップ話し合い結果(2)

東大雪の玄関口であるぬるかびら源泉郷で求められた役割を果たすためのゾーニングについて (B班)

〇ぬるかびらを歩くルートは？ ルート上や街の中にとどんな工夫があると美しくも楽しめる？どこに案内看板があったら効果的？

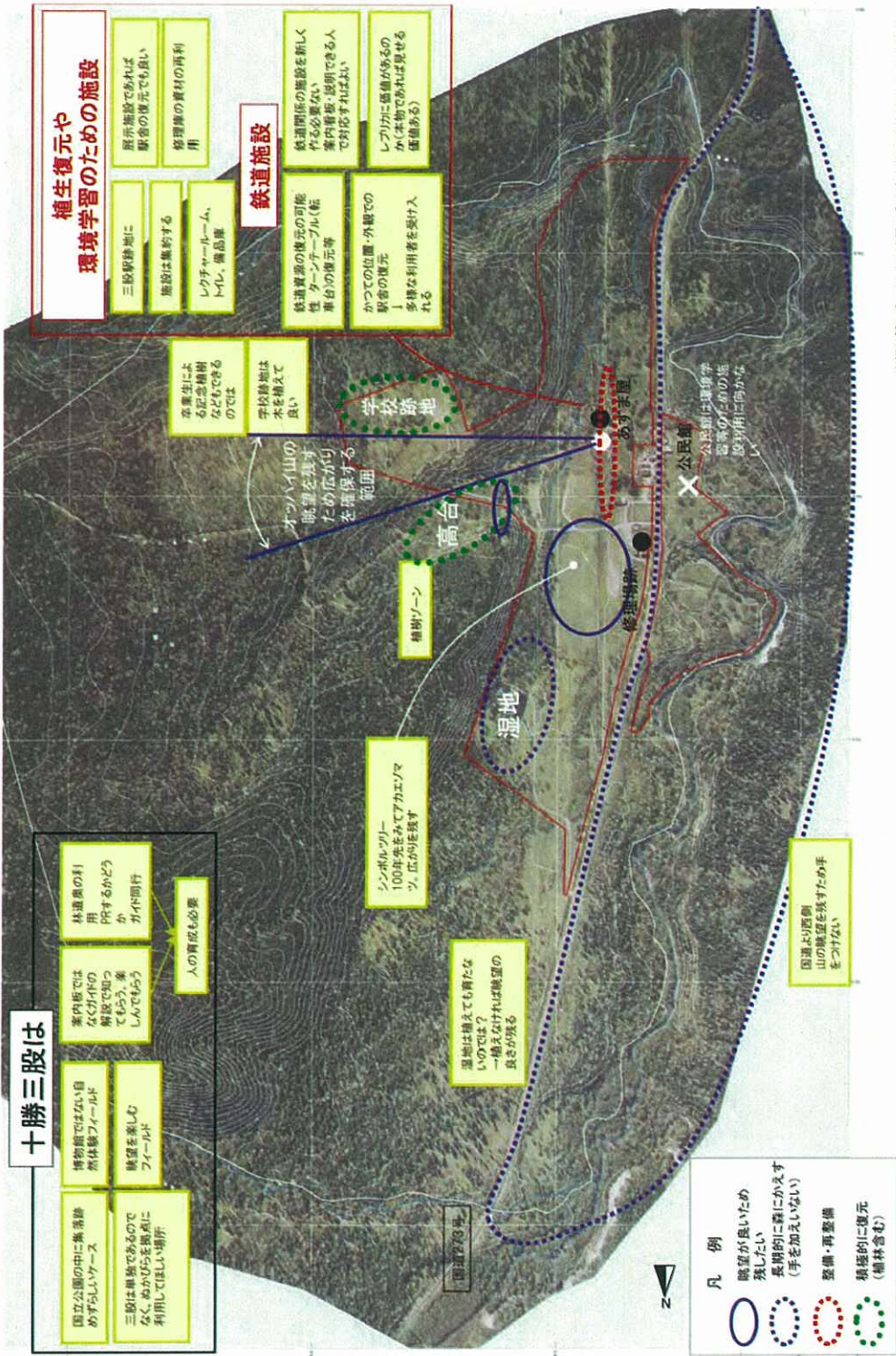


※班の話し合いの中で地図に書き込まれた内容や付せんから作成

図 10-15 第3回ワークショップ話し合い結果(3)

十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生復元のゾーニングについて (B班)

○眺望や歴史を残しておきたい場所は? 植生復元の作業や環境学習をするために、三股に施設は必要か? 必要であれば、どこにあたら良いか?



※班の話し合いの中で地図に書き込まれた内容や付せんから作成

図 10-16 第3回ワークショップ話し合い結果(4)

10-2. 地元説明会の開催

10-2-1. 開催概要

地元説明会の開催概要を以下に示す。

表 10-4 地元説明会開催概要

日時	平成 23 年 3 月 4 日 13:30~15:00
場所	糠平温泉文化ホール
出席者	地域住民・関係機関 20 名 事務局：上士幌町、環境省、(株)地域環境計画、(株)ライヴ環境計画
式次第	1. 挨拶 北海道地方環境事務所国立公園課・保全整備課課長、上士幌町企画財政課課長より挨拶 2. 資料説明 上士幌自然保護官事務所 自然保護官より大雪山国立公園東大雪地域整備基本計画(案)について説明 3. 質疑応答 4. 閉会の挨拶 北海道地方環境事務所国立公園課・保全整備課藤森課長より挨拶
資料	•地元説明会次第 •大雪山国立公園東大雪地域整備基本計画(案) •発表資料印刷物



地元説明会の様子

10-2-2. 説明資料

地元説明会の説明資料を以下に示す。

大雪山国立公園東大雪地域 整備基本計画(案) 地元説明会

日時:平成23年3月4日(金)
場所:糠平温泉文化ホール

今年度の検討経緯(ワークショップの開催)

【大テーマ】
東大雪地域全体と各地区(糠平地区、十勝三股地区等)での望ましい活動形態と求められる機能

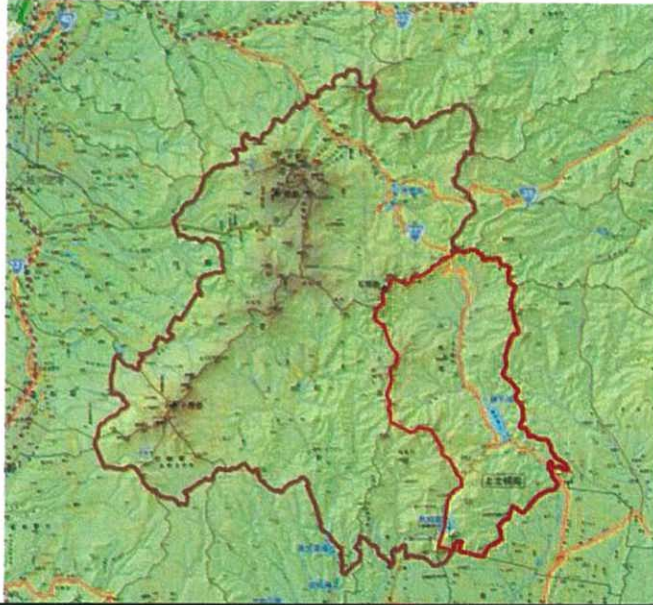
【小テーマ】
[1] 東大雪地域での連携した望ましい活動形態について
[2] 十勝三股地区の活動形態とそのゾーニングについて
[3] 糠平地区の活動形態とそのゾーニングについて

<ワークショップ開催状況>

	開催日	個別テーマ	参加者数
第1回	平成22年10月28日	◎東大雪地域の現状(ぬかびら源泉郷・十勝三股・連携) ◎東大雪地域の将来の望ましい機能(ぬかびら源泉郷・十勝三股・連携)	14名
第2回	平成22年11月30日	◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷の利活用について ◎十勝三股等の保全と利用について ◎東大雪にある資源の今後について	12名
第3回	平成22年12月21日	◎東大雪の玄関口であるぬかびら源泉郷で求められた役割を果たすためのゾーニングについて ◎十勝三股の特徴(眺望の良さ・空間の広がり・歴史)と植生復元のゾーニングについて	9名

図 10-17 地元説明会説明資料(1)

計画対象地域



確認・整理事項

1. 上位計画

- ◆大雪山国立公園計画
- ◆大雪山国立公園管理計画

1. 関連計画

- ◆上士幌町総合計画
- ◆上士幌町環境基本計画
- ◆ひがし大雪エコミュージアム構想
- ◆イムノリゾート上士幌構想

図 10-18 地元説明会説明資料(2)

調査事項

1. 自然条件
(気候、地形・地質、植生、動植物)
2. 人文・社会条件
(歴史、文化、人口、産業、土地所有、権利制限、既存施設、水道施設)
3. 公園利用状況及び利用施設の概況
(観光資源、利用動線、利用者数・観光客層、自然観察ツアーや環境保全活動などの実施状況)
4. 聞き取り及びワークショップの結果

(概要)

- ・ぬかびら源泉郷地区での情報発信機能の充実、既存施設の活用・再整備の必要性
- ・十勝三股地区での植生復元、外来種対策、眺望確保、歴史資源PRの必要性
- ・ぬかびら源泉郷地区を拠点として、東大雪地域を体験・活動のフィールドとする

東大雪地域における公園利用上の現状と課題

- ◆ 地形的・地理的条件
- ◆ 公園利用における情報発信の必要性
- ◆ 多様な利用形態・利用者層への対応
- ◆ 既存資源の有効活用
- ◆ 生物多様性の確保に向けた取り組み



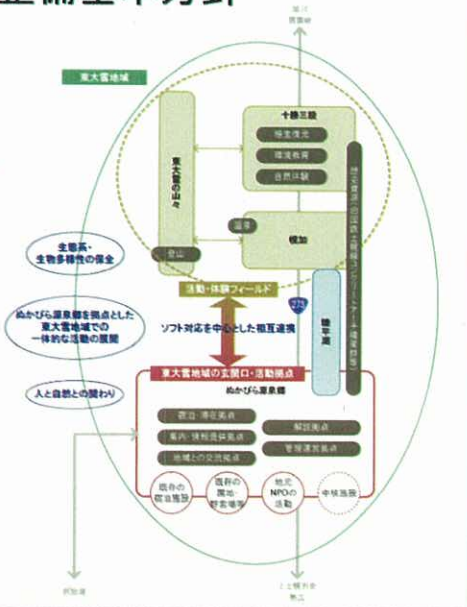
図 10-19 地元説明会説明資料(3)

東大雪地域整備基本方針

◆ぬかびら源泉郷地区を拠点とした東大雪地域での一体的な活動の展開

◆生態系・生物多様性の保全

◆東大雪地域におけるこれまでの人と自然との関わりを知り、これからの関わり方について考え・行動する機会を提供する多様な活動プログラムの展開



ぬかびら源泉郷地区

1. 基本計画方針

- ◆東大雪地域の玄関口・活動拠点としての機能の充実
- ◆既存施設・資源を有効に活用するためのソフト対策の充実とハード整備の連携
- ◆地区内の人の流動を促す歩行動線のネットワーク
- ◆「森の温泉街」のイメージを実現する緑豊かな街並み整備
- ◆利用者目線にたった情報提供のしくみづくり
- ◆地域のまちづくりとの連携・東大雪全体をフィールドとした管理運営体制
- ◆ぬかびら源泉郷を取り巻く自然環境の保全
- ◆東大雪地域の自然環境の保護普及啓発活動及び調査・研究機能の充実



図 10-20 地元説明会説明資料(4)

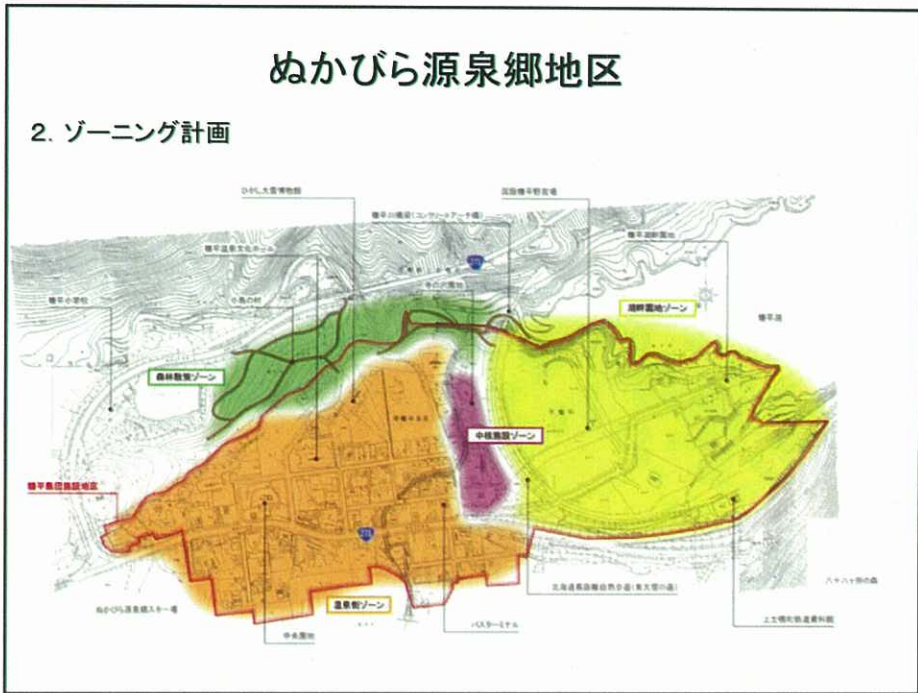
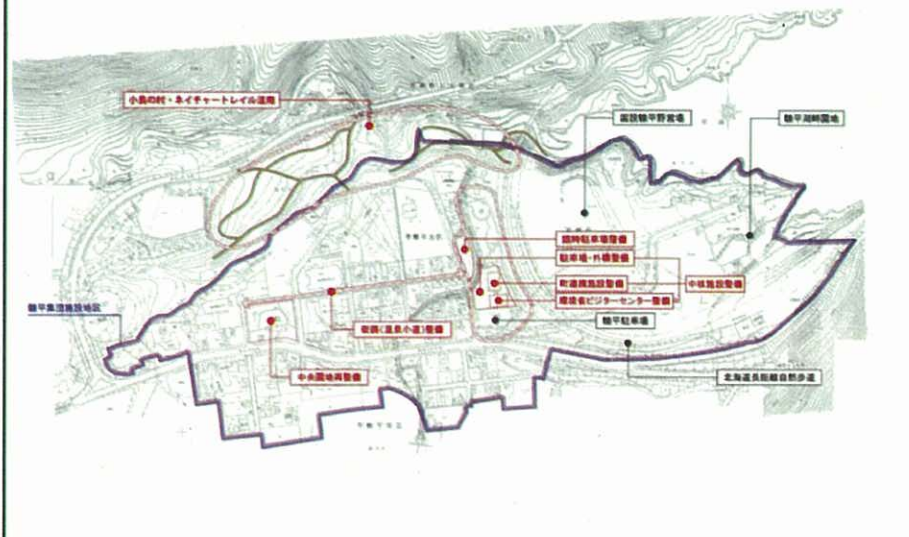


図 10-21 地元説明会説明資料(5)

ぬかびら源泉郷地区

4. 施設計画



ぬかびら源泉郷地区

4. 施設計画

4-1 中核施設の役割

- ◆ 自然環境保全活動の拠点
- ◆ 利用促進と利用者の安全確保の拠点
- ◆ 情報収集・発信の拠点
- ◆ 自然体験及び植生復元等の活動拠点
- ◆ 調査・研究の活動拠点
- ◆ 自然環境や歴史を学ぶ拠点
- ◆ 管理運営の拠点

図 10-22 地元説明会説明資料(6)

ぬかびら源泉郷地区

4. 施設計画

4-2 中核施設に求められる機能と施設構成

基本機能	中核施設に求められる機能	諸室
案内・情報提供機能	・リアルタイム情報を交え、自然から観光まで幅広い情報を網羅した東大雪地域の総合案内 ・東大雪地域の自然体験、植生復元等各種活動プログラムの案内 ・地域の観光振興のための物販(特産物・グッズ等)	案内カウンター、 レクチャールーム、
解説機能	・東大雪地域を中心とする大雪山国立公園の自然環境の解説・展示 ・東大雪地域の歴史の解説・展示	展示室、 案内カウンター、
自然保護指導・促進機能	・東大雪地域の自然保護普及啓発、植生復元等の活動の支援・誘導及び自然体験活動の促進	案内カウンター、 レクチャールーム、 多目的スペース
休憩・便益機能	・東大雪地域及びぬかびら源泉郷来訪者のための休憩の場 ・中核施設利用者と地域との交流の場 ・簡易な情報収集(図書・資料閲覧、PC検索等)の場	多目的スペース、 休憩スペース、 トイレ
調査・研究機能	・大雪山国立公園を中心とする地域の自然等の調査研究、資料収集・整理・収蔵 ・利用者及び地域関係者への東大雪地域に関する案内・解説・情報発信のための各種情報収集・整理	研究室、収蔵室
管理・運営機能	・中核施設の日常的な維持管理 ・東大雪地域にあるフィールドの維持管理等の拠点 ・関係者の情報共有や人材育成等のための研修の場	案内カウンター、 事務室

ぬかびら源泉郷地区

4. 施設計画

4-3 環境省ビジターセンターの 諸室配置イメージ

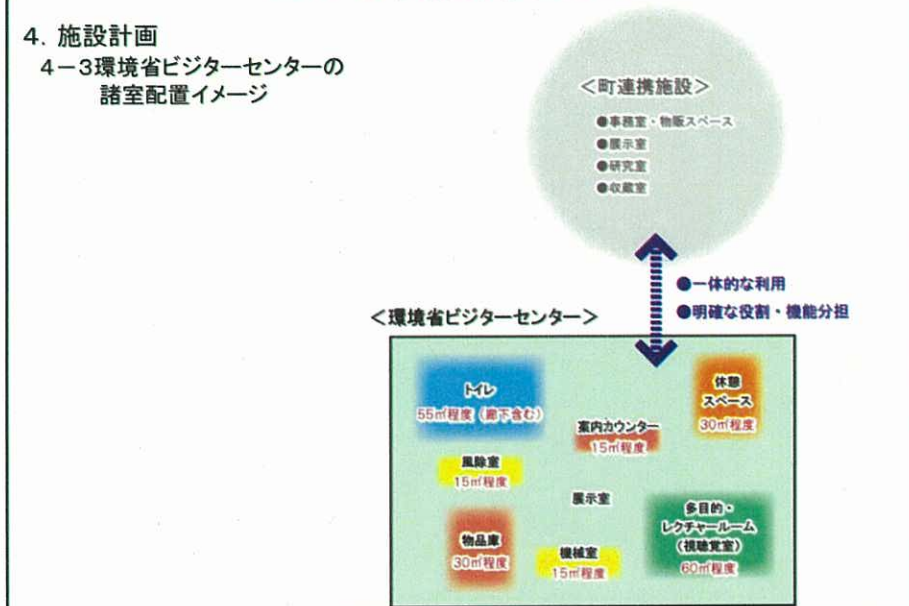
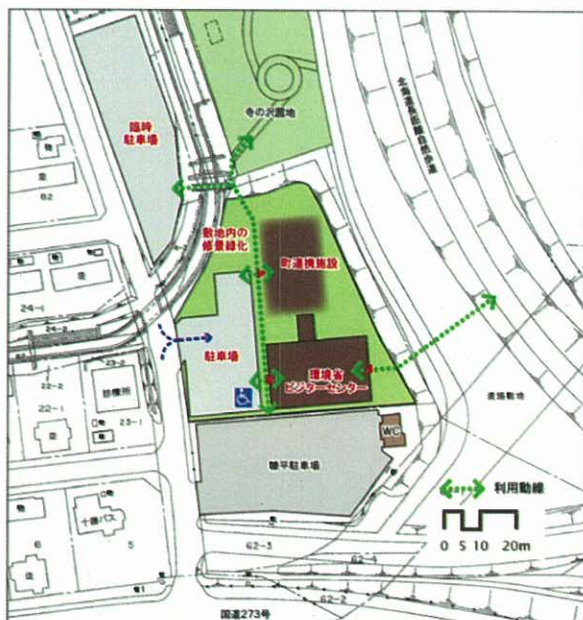


図 10-23 地元説明会説明資料(7)

ぬかびら源泉郷地区

4. 施設計画 4-4付帯施設及び施設配置



十勝三股地区

1. 基本計画方針

- ◆失われた植生を復元する
- ◆特有の自然資源である周辺に広がる山岳景観の眺望を確保する
- ◆十勝三股の過去の歴史や植生復元の取り組みを情報発信する
- ◆新たな場所での建物等の新規整備は行わず、既存施設の有効活用を図り、必要最低限の整備を行う。



図 10-24 地元説明会説明資料(8)

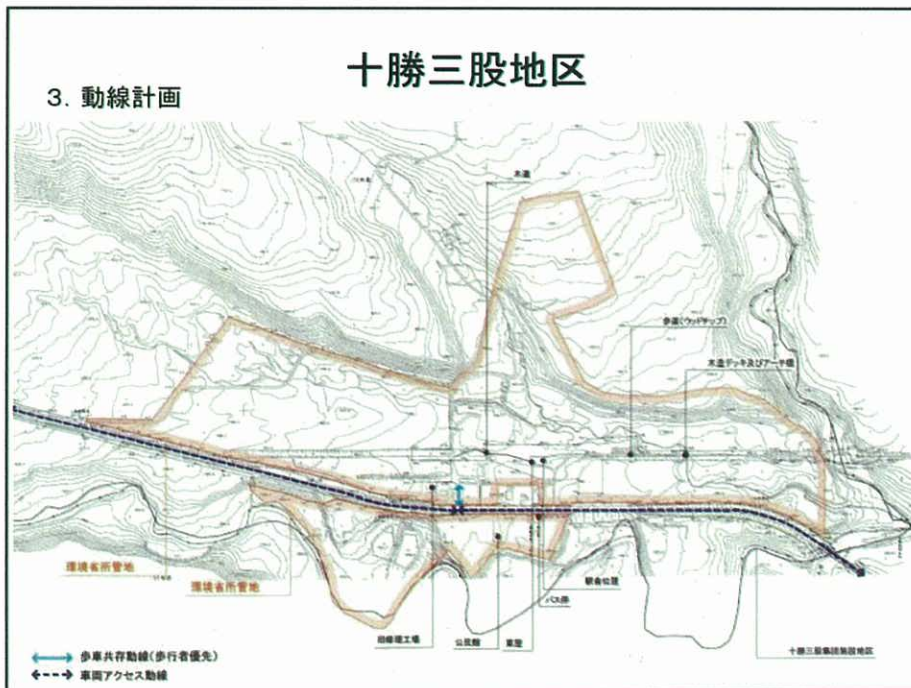
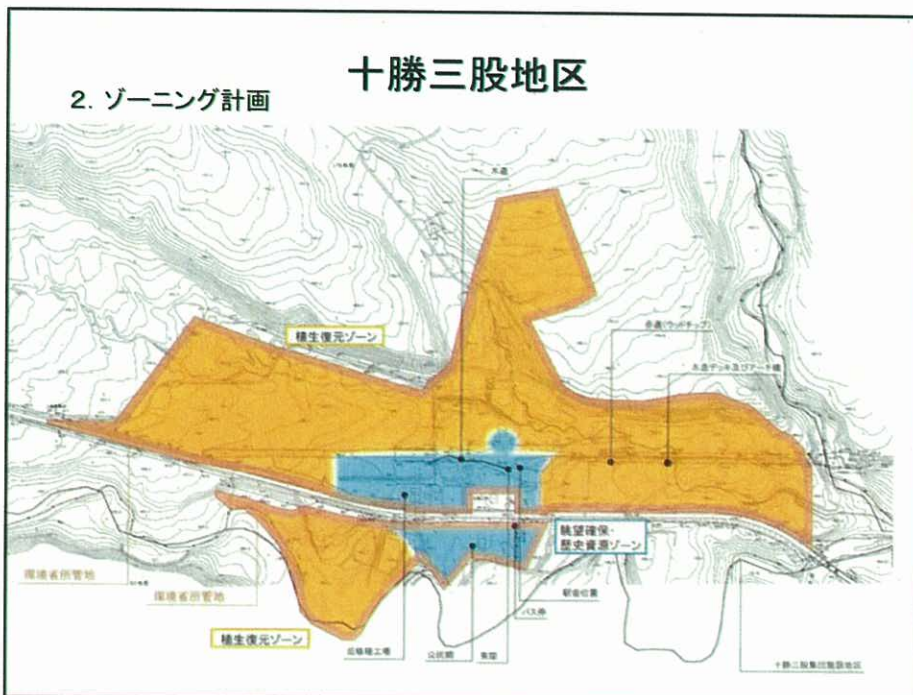
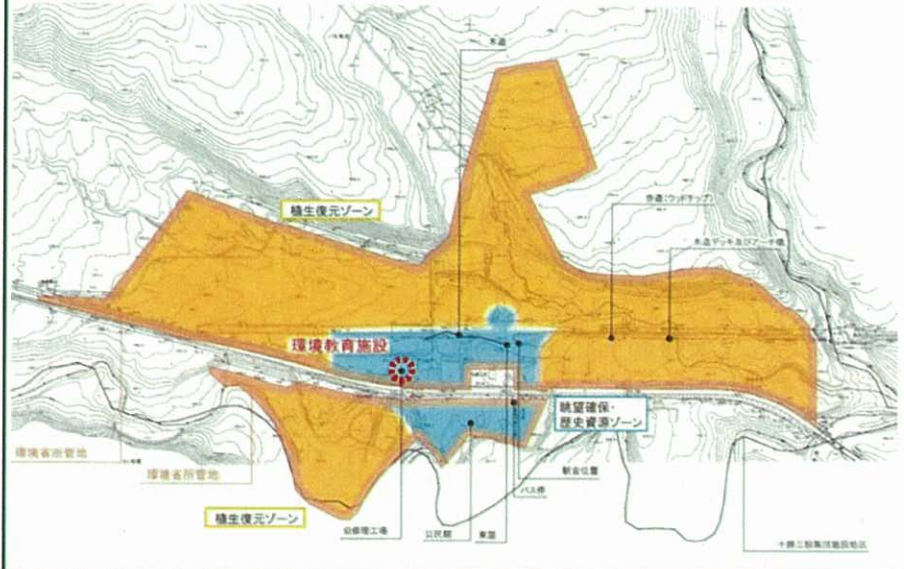


図 10-25 地元説明会説明資料(9)

4. 施設計画

十勝三股地区



十勝三股地区

5. 植生管理計画

◆ 植生復元に関する植生管理計画

◆ 外来種に関する対策

専門家の意見を聞きながら実施



図 10-26 地元説明会説明資料 (10)

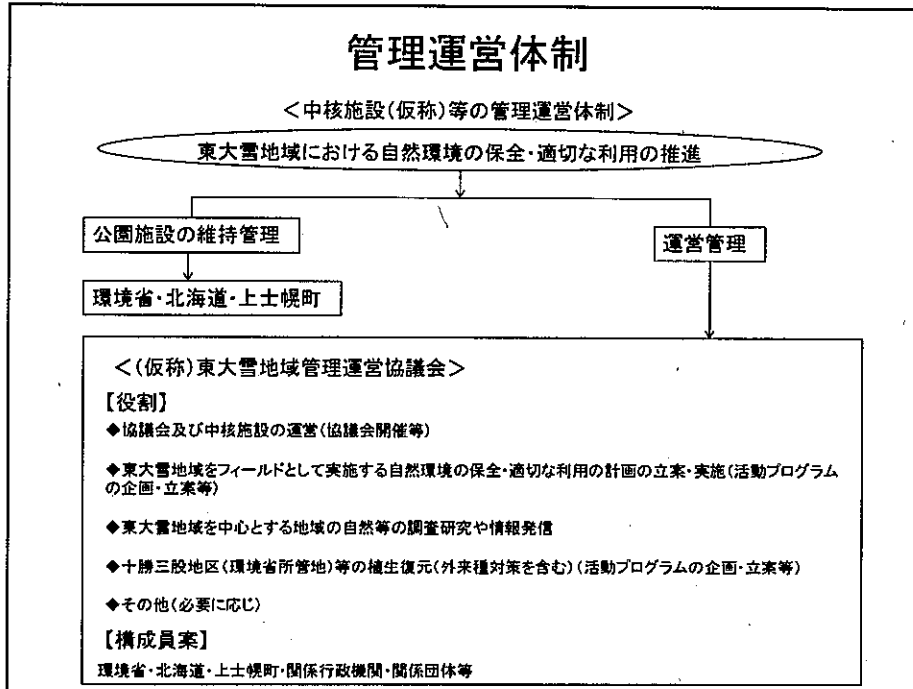


図 10-27 地元説明会説明資料(11)

10-2-3. 結果概要

地元説明会の質疑応答等の要旨を以下に示す。

表 10-5 地元説明会質疑応答等要旨

質問・意見	回答
十勝三股の旧修理庫が残され活用されることについては賛成である。文化遺産と自然遺産の調和の視点から、土幌線の終点である十勝三股の産業史も評価し、駅舎が復元されればより素晴らしい。	自然に加え開拓の歴史も十勝三股の特徴であると認識している。整備基本計画書(案)では旧修理庫を環境教育施設として活用する案を検討している。環境省の事業として可能な形で歴史についての情報発信や普及啓発をはかっていきたいと考えており、ぬかびら源泉郷を拠点としてソフトの対策を図ることが最も重要であると考えている。歴史資源を看板等で案内することも副次的な手段の一つと考えている。
これまで、施設整備に関する議論はつくされてきた。施設の内容や人的配置、運営体制も重要であり、施設が完成する前に検討すべきである。	整備基本計画書(案)の段階では中核施設の機能を整理しており、来年度、「(仮称)東大雪地域管理運営協議会(以下、協議会)」を設置し、地元の方々、関係機関に参画いただき、町の施設と一体的に設計や運営について検討していきたい。
整備基本計画書(案)p.62のビジターセンター概要図の面積とp.72の概算工事費に示されている面積の対応は。	p.62の図には展示室の面積を示していない。p.72表の面積はp.61の表。諸室規模の設定の面積を合計したものである。
計画(案)はいつ確定するのか。	今年度末には正式な計画としたい。
計画(案)はどのような手続きを経て確定するのか。	本日の説明に関するご意見を来週末まで受け付け、内容を検討した上で今年度内に策定したいと考えている。地方環境事務所が一地域で行う事業計画であるため、手続きは特段予定していない。
教育普及活動、情報発信のメニューづくりは民間会社に委託するのか。	環境省、関係行政機関、地元の方々を構成員とする協議会を設置し、教育普及活動、情報発信のメニューづくり等についても検討していきたい。
メニューづくりのための体制に自然(動物、植物等)の専門家は入れないのか。	専門家については、来年度、上士幌町と相談しながら検討していきたい。
整備基本計画書(案)にはワークショップで話し合われた内容が反映されていると感じる。多くの方が関わっており、ぜひ尊重していただきたい。ただし、整備基本計画書(案)には地域の歴史や未利用資源の活用といったソフトの展開はあまり触れられていない。ソフトの展開は、今後の地域の課題でもありと考えている。	「人から人へ伝わっていくこと」が重要だと認識しており、運営に際して、一つのテーマとして検討していきたい。
施設整備後、利用者や来訪者からの意見を聞く等のフォローアップを計画しているか。	施設の運営や活動の中で、来訪者や関係者のご意見の反映は、当然行っていくことと認識している。
この計画は公園計画の再検討と連動して考えているか。	本整備基本計画は、環境省が関係機関、地域と協力して事業を進めるためのプランであり、自然公園法に基づく公園計画等とはレベルが異なるものである。
整備基本計画書(案)に対する意見提出の書式はあるか。また提出先はどこか。	ご意見の提出は環境省上士幌自然保護官事務所の山北自然保護官宛にお願いしたい。また、ご意見はFAX、メール、書面等での提出をお願いしたい。
湖畔園地、ネイチャートレイル等歩行者専用道の整備は環境省が行うのか、町と環境省の両方が行うのか。	ワークショップの結果等から、散策路がぬかびら源泉郷において核となる重要なものと認識している。散策路等の整備主体を来年度早急に調整していきたい。
お客様は自然散策を求める方が多く、温泉街からビジターセンターへ向かう道、湖畔園地、小鳥の村等の遊歩道整備に、是非力を入れていただきたい。	ぬかびら源泉郷独自の自然を活かした、地域にふさわしい遊歩道の検討を進め、合わせて整備方法を検討していきたい。整備方法によっては整備主体が変わる可能性もあり、調整を進めていきたい。